

# OKHOTSK VALLEY

VOL.2  
オホーツクバレー

## 自然経済



## NATURAL ECONOMY

自然を基盤に未来を創る

ABOUT OKHOTSK VALLEY

# NATURAL ECONOMY

## 自然を基盤に未来を創る

世界地図の東の端、北海道オホーツクに位置する北見市。

ときには深く、ときには爽やかに、気候によって表情を変える空や海、大地の青が、果てしなく続く夏景色を彩り、冬は-30℃にも及ぶ厳しい寒さが、きらめく白の景色を創り出す。

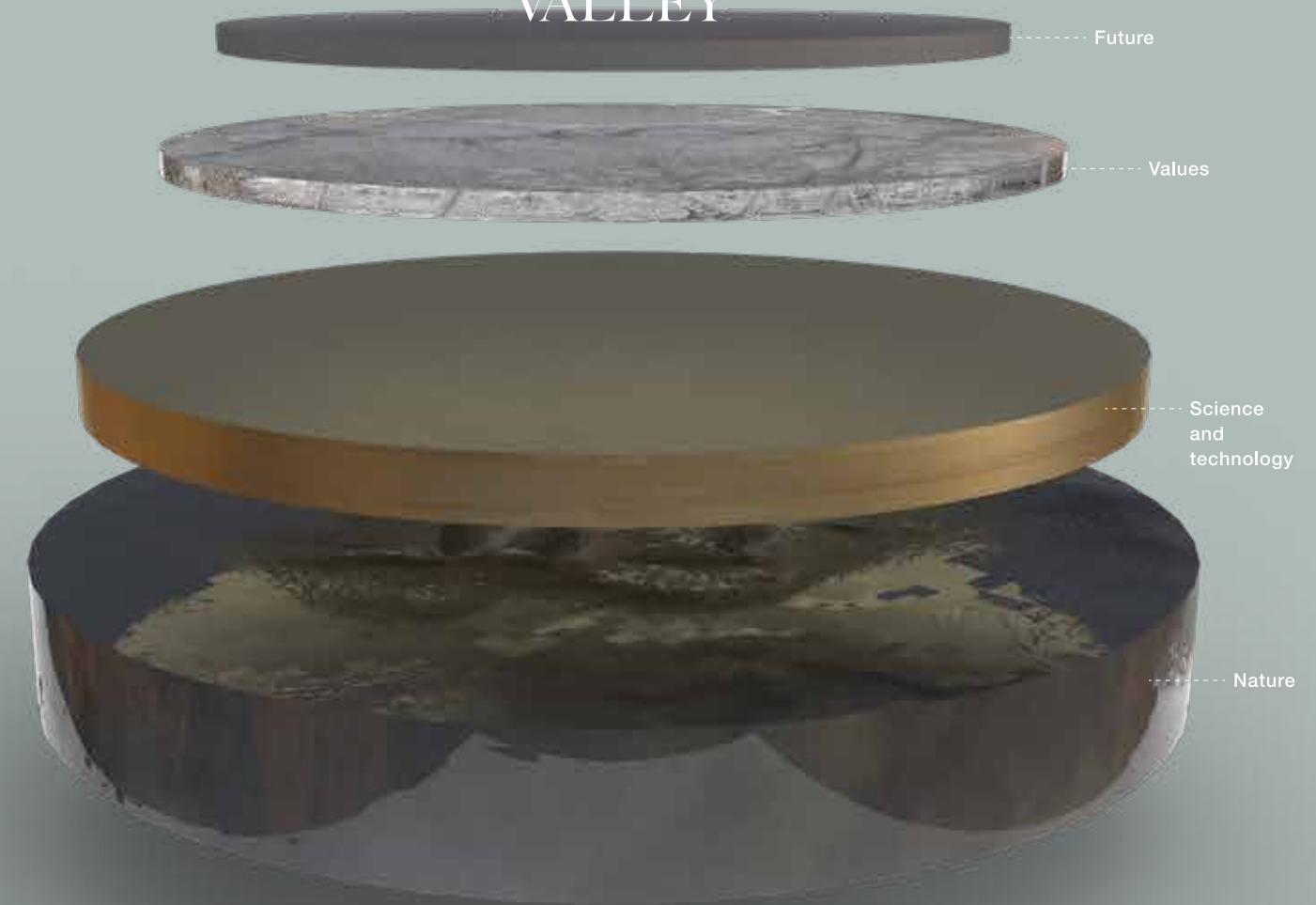
この地域では古くから、過酷な自然が育む資源を利用して、農業や漁業、林業、観光業に至るまで、産業の多くを自然を基盤に経済を発展させ、人々の素朴で豊かな暮らしを紡いできた。

私たちが今ここで目指すのは、地球環境や自然環境を重んじる気持ちと、次の世代の暮らしを守るための科学技術を融合させて発展させる経済。

科学技術の発展によって、あらゆることが便利になり、暮らしや生き方に対するひとりひとりの価値観が見やすくなった今だから、場所を超えて、共感してくれる人たちと繋がり、一緒に未来をつくりたい。

極東という地図の端から世界に繋がり、自然を基盤に技術、産業、暮らしを融合させて、ここでしか創れない未来を創る。

もっと自然に、もっと自由に。  
一緒に未来を創りませんか。

OKHOTSK  
VALLEY



北見で出会って生まれる  
新しいこと

## INTERVIEW

- 01 I-ENTER
- 02 ACE CLEAN
- 03 KANAME
- 04 KCB
- 05 KUWABARA GROUP
- 06 JMTY
- 07 ZOOOPS JAPAN



## 北見の基地から展開する コミュニティづくりとシステム開発



**i-enter corporation**

株式会社アイエンター

設立年月日 | 2004年9月 / 本社所在地 | 東京都渋谷区渋谷2丁目14-10 長沼ビル5階

### アイエンターについて

アイエンターは東京のIT企業ですが、2015年の総務省の「地方でもテレワークで働けるか」というテーマの地域実証事業へ参加したのをきっかけに、会社として社員が北見でワーケーションできるように環境づくりを行いました。北見に行って、ただテレワークをして東京に帰るのではなく、回を重ねるごとに地域との関わりを増やしていき、カーリングに関連した北見工業大学との共同研究や、いわゆる「せり」と呼ばれる魚市場での入札を支援するシステムの開発など、地域に根ざしたシステム開発を進めてきました。そして、2021年に北見に進出し、2022年3月に事業所兼ワーキングスペース「KITAMI BASE」をオープンしました。

### サケモデルと ワーキングスペース

2015年以降、北見市と北見工業大学が連携して取り組んでいる、地元志向の学生が首都圏の企業に就職して、数年間は首都圏で経験を積み、北見事業所を開設する際のスタートアップ人材として地元に戻り活躍してもらおう、通称「サケモ

デル」に賛同し、北見工業大学の学生を採用してきました。現在は、スタートアップ人材として北見に戻った社員が、KITAMI BASEでそれぞれの通常業務に加えて、運営や施設内システムの開発に携わっています。中には、地元のカーリングチームを立ち上げ、競技も仕事も続けながら五輪出場を目指している社員も働いていて、会社としても応援しています。

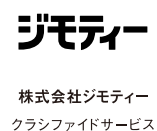
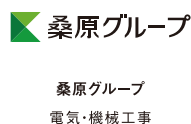
### 人と人をつなぐ北見の基地

KITAMI BASEには、人と人をつないで、イノベーションを生み出す場所にしていきたいというコンセプトがあり、訪れた人が地域や人とつながることができる「北見の基地」として、コミュニティづくりを進めています。こういった対面でのコミュニケーションやつながりを大切にしながら、一方で、宿泊利用やワーキングスペース利用の予約は事前にオンラインで手続きができ、受付や宿泊ルームの入退室は、顔認識やQRコードでできるほか、館内のCO2濃度や会議室の予約状況をリアルタイムでディスプレイ表示することで、非対面による利用者の利便性向上や運営コスト削減につなげています。システムは

自社開発したものを導入していて、北見にUターンしたメンバーが運営の中でユーザーの顔やリアクションをみながら、日々改善に取り組んでいます。



[1] 北見駅から徒歩5分のKITAMI BASE  
[2] セキュリティ強化のため導入された顔認証システム  
[3] 自社開発のCO2注意喚起システム「i-Measure」







オホーツク地域の可能性を伸ばす新事業から

SDGsの取組へ



株式会社エース・クリーン

設立年月日 | 1976年2月 / 本社所在地 | 北見市小泉761番地12

### エース・クリーンについて

当社は、北見市に本社を置く、産業廃棄物処理業を行う企業です。1976年の創業以来、産業廃棄物の処理に関連して、地域産業の実情や地域行政の方針に従い、地域インフラの静脈として地域環境保全に携わってきました。

### オホーツク地域の特性を生かした新たな事業

当時、廃棄物を加水分解してリサイクルすることを目的に作られた蒸煮装置の活用を検討していました。その中で辿り着いた、1990年の農水省の蒸煮した木材を牛用の餌にするための研究をヒントに、2014年から木質蒸煮飼料生産事業に取り組み始めました。この地域は、森林資源が豊富で畜産農家も多い。原材料となる木材を地元で調達し、蒸煮して地元の牛のえさにするという仕組みなら、飼料の地産地消を図ることもできる。しかし、いわゆる「牛がいつも食べているえさ」とは違うので、これを製造していくにあたって、価格や安全性の面で数々のステップをクリアしていく必要がありました。研究機関や大学、畜産農家などの協力

を得ながら、数年にわたって「稲わらの代替飼料になる」ということ、原料になりえる木材の種類の検証、何より他の飼料より牛が好んで食べていて、なおかつ健康効果があることが実証されました。牛が健康に生育することで肉の品質向上に寄与するため、結果として、機能性飼料として有効性があることがわかり、本格的な飼料生産事業を行う体制を整えてきました。

最近では、蒸煮装置の規模拡大や手作業だった梱包作業も機械の導入による自動化など、安定的な供給体制を整えています。

### 温室効果ガスの排出削減 SDGsの取組としての展望

牛の健康が温室効果ガスの排出削減に貢献することもわかってきました。世界では、温室効果ガスであるメタンの発生源の第2位は農業、うち約95%が家畜から発生していて、主なものは牛のゲップによるものと言われています。木質飼料によって牛の内臓環境を良い状態に保つことがゲップの抑制に大きく影響するとして証明できれば、SDGsの目標に寄与で

きる事業としても発展していく可能性があると考えています。



[1] 木質蒸煮飼料「キャトルエース」製品  
[2] キャトルエースブランドマーク  
[3] 北見市近郊のシラカバなどを原料に



大学との地域課題解決プロジェクト

北見発のサービスに



株式会社要

設立年月日 | 2010年7月 / 本社所在地 | 東京都千代田区麹町2丁目2番地3 VORT半蔵門II8階

### 要について

弊社は、2015年の総務省のふるさとテレワーク推進のための地域実証事業で北見市でのテレワークに参加しました。2017年にICT環境を活用した地方創生に係る連携協定を締結し、ICTを活用した地域課題の解決に向けた取組を進め、より地域に根差して事業を行うため、2021年に北見市に事業所を開設しました。

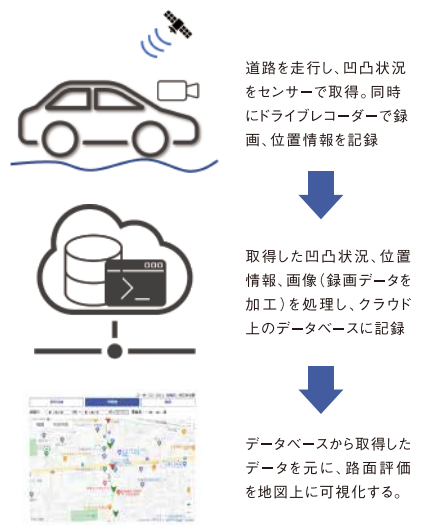
### 地域の課題解決から 北見発のサービス開発

連携協定の締結以降、連携事項にある「ICTを活用した地域課題の解決に関すること」に取り組むため、北見工業大学の研究シーズから地域の課題解決につながるような研究を探していました。そんな中、道路の評価測定に関する研究との出会いがありました。道路は、国から自治体に対して、すべての道路を対象にした点検・診断・措置・記録のメンテナンスサイクルの構築が求められていますが、業務に手間や時間がかかるため、小規模な自治体であるほど、その負担が大きかったことがわかっていました。そこで、研究

室で集積されたデータを使いやすく加工することで、その課題をITで解決できるのでは、と考えて共同研究を開始しました。研究室では、一般車両を走行させるだけで評価測定に必要な数値を集めることができるセンサーが使用されていました。センサーには、緯度と経度が示す地点の車の走りやすさを表す数値が蓄積されていきます。それを弊社の技術によって、収集した数値データをクラウドにアップロードして、マップ情報とリンクさせることで、地図上でどの地点のデコポコが大きいのかなど、走った道路の状況がPCなど端末の画面で見られるようシステムを構築しました。

現在では、効率的な路面状況管理が可能になる商品として販売しています。販売後も北見市と千葉市で実証実験を行いながら、データの見やすさや使い勝手、

センサーの機能性など、システム全体のブラッシュアップを進めていて、引き続きこの地域課題の解決に取り組んでいます。



### 地域情報でまちと全国をつなぐ / 北見経済新聞

弊社はIT企業ですが、北見に進出したタイミングで、電子新聞「北見経済新聞」の発行を開始しました。「北見を全国に広げる」を合言葉に、北見焼肉や日本一の生産量があるたまねぎ、オリンピックのメダリストを輩出するカーリング、それにまつわる人々たちなど、わたしたちの知る北見の魅力为全国の皆さんにも知ってもらいたくて、地域情報を発信しています！





前例のないシステム開発

自治体と協同してたどり着いたDX



株式会社 北見コンピューター・ビジネス

設立年月日 | 1997年5月 / 本社所在地 | 北見市北2条西3丁目6番地 NUPSビル

### KCBについて

当社は北見市のシステム開発会社です。北見市役所に導入されている窓口業務支援システムの開発を手がけました。

### 「書かない」手続きを支援する

手続きにきた人は、従来、手続きごとに何度も住所や氏名などを記入していましたが、このシステムの活用によって、ほとんど「書かない」申請書を発行できます。また、例えば、引っ越しの際は、国民健康保険や年金など、複数の手続きが必要ですが、対象となる手続きを抽出する機能を備えることによって、一か所で複数の手続きの案内ができたり、手続きによっては同じ窓口で申請書を発行したりと、窓口に来た人が効率的に手続きできるようになりました。

### 自治体と一緒に完成させていくシステム

通常の開発では、お客様の要望に応じて設計していくことが多いですが、このシステムはプロジェクトが始まってから、北見市とのヒアリングを重ねて、目指す状態や機能を少しずつ調整したり、制度や法律

など基本的な条件の積み重ねはもちろん、表面的な知識ではわからない現場の声を拾い上げたりして作っていききました。システムの導入と、業務改善も併せて取り組むとシステムも効果的に働くということ北見市の事例を通じて感じていたので、他の自治体への導入時も伝えるようにしています。



住民目線の「わかりやすい」「優しい」を理想とした基本思想「らくまど」

### 自治体DXのあしどり

BY  
北見市

● 職員の作業量が多い仕事の負担を簡単にできないか？  
→たとえば、申請書の記載方法の説明や、届書の補正作業など

- 01 ワーキンググループ立ち上げ→ 窓口体験調査の実施  
考えたこと…課題の洗い出しと共有
- 02 庁内プロジェクトチーム発足[ワンストップ推進会議]→ 有志から「北見市」の取組に。  
やったこと…アナログの運用を見直し(様式の見直し、案内板の作り直しなど)
- 03 システムの開発スタート  
やりたいこと…書かない化、ワンストップ窓口をデジタルで実現  
アナログの業務改善に追加して、デジタルを活用した見直しスタート
- 04 書かないワンストップ窓口の開始

職員の業務効率化+来庁者の待ち時間短縮+利便性UP



地域でつくりあげる

産業の最先端を支えていく仕事



桑原グループ(桑原電工株式会社、桑原電装株式会社、桑原冷熱株式会社)

設立年月日 | 1946年6月 / 本社所在地 | 北見市豊地1番地21

### 桑原グループについて

桑原グループは、3つの会社で成り立っていて、地域の強みである第一次産業に関連する機械系、車両系、設備系の事業を行っています。現在に至るまで地域の産業を陰ながら支えてきました。

### 第一次産業の最先端を支える仕事

全国各地で人口減少が進んでいます。この地域でも例外ではありません。人口減少により産業の担い手が減っていく中で、ロボットによる自動化や省力化は必要不可欠になる。最先端のものでも機械の販売や修理、メンテナンスに対応することで、産業へ寄与したいと考えました。ロボットによる自動化を望むユーザーの「どう進めていけばいいのか」の後押しになるよう、例えば、農業では、ドローンによる農薬散布や圃場の生育把握、要望にあわせてフライト講習、資格試験を実施しています。最近では、水中ドローン活用にも積極的に取り組んでいます。しかしながら、北海道は地理的にとても広いので、部品調達に時間がかかってしまいます。機械の修理ができないとその日

の作業が止まってしまう。最先端の機械であればなおさら「何かあった時に、誰が駆けつけてくれるのか」という問題が起こります。現場の困りごとに即座に対応できるサービスが必要になる、そう考えました。

### 新しい価値を生み出す拠点

2022年に新たな拠点として、北見工業大学の目の前に「KIT FRONT(キットフロント)」を開設しました。KIT FRONTは、グループ3社の新規事業を集約し、ドローン、3Dプリンタ、蓄電池、ロボット(産業用蓄電池)など、未来に近い事業を集めました。そこに地域のみんなが集って連携を深めることで、新しい価値を生み出していき、そんな場になりたいという想いで造りました。

実際に、大学との距離が近くなってコミュニケーションの回数が増えたことで、共同研究もスタートしました。ドローン事業に3Dプリンタの技術を応用し、パーツ製造によるメンテナンスやカスタマイズに取り組んでいます。産学官連携というと、ハードルが高い印象を受けますが、この場所ができてからは、大学の先生たちとのコーヒークーブレイクでのラフな話が新しいアイデアやアクションに繋がっています。

私たちが培ってきたノウハウと、地域のたくさんの方の困りごと、アイデアを持った人たちがこの場所でシナジーを生み、新しい価値を創造していくことで、北見のエネルギーになれば、と考えています。



ドローンのメンテナンス作業を行う桑原グループ社員



北見工業大学前に位置するKIT FRONT



# 大賞 株式会社ジモティー

## 第23回グリーン購入大賞 表彰式



北見での実証から全国へ  
リユースの仕組みづくり

地域の企業と  
熟練された人の技をデジタル化



## ジモティー

株式会社ジモティー

設立年月日 | 2011年2月 / 本社所在地 | 東京都品川区西五反田1-30-2 ウィン五反田ビル4階

### ジモティーについて

弊社は、近所の方同士で情報交換をする地域の情報サイト「ジモティー」を運営しています。本社がある東京の生活の中で生まれる問題だけでなく、地方の拠点を通して様々な地域の身近な生活を知り、課題に向き合うことが必要と考え、2019年に北見に全国初の支社を開設しました。

### 全国の自治体と連携

2020年に北見市と連携したリユースの実証事業を開始しました。粗大ごみとして廃棄された物の中から、まだ使える物の情報を掲示板サイト「ジモティー」から発信して、引き取り手を探すという内容です。引き取り手募集の投稿は、自治体がアカウントを開設して行います。2020年4月から2022年3月までの2年間で、336品、約98%の引き取り手を見つけることができました。

北見市との実証を先駆けとして、全国各地の自治体に広がり、ごみの削減に大きく貢献できたことが評価されて、「第4回エコプロアワード」や「第23回グリーン購入大賞」といった環境系の分野における

重要なアワードを相次ぎ受賞することができました。

### 福祉とジモティー

北見市社会福祉協議会（以下「社協」）と連携して、社協に寄せられる衣類などの寄付品を福祉事業者や利用者へ譲渡するフローの効率化を目的とした実証事業を行いました。

社協では、それまで寄付品の引き取り手となる福祉施設や事業所に対して、ひとつひとつ物品の情報を写真や電話で提供し、譲渡の申し込みを受けており、とても担当者の手間がかかっていました。

そこで、寄付品の情報提供に掲示板サイト「ジモティー」のサービスを活用することを提案しました。結果、寄付物品が可視化されたことで、譲渡がスムーズになり、半年間で1000件以上の譲渡が完了しました。

### 地元大学とリユース

北見工業大学とも学生団体と連携した学内でのリユースの取組を進めています。北見工業大学の学生は、半数以上が市外の出身です。卒業と同時に北見

を離れる際に、不要になった家具や家電がごみとして発生してしまうことが課題になっています。新入生など、地域で引き取り手を見つける仕組みとなれば、こちらも全国の先駆けとなるのではと期待しています。



ジモティーの使い方



Zooops Japan

株式会社ZooopsJapan

設立年月日 | 2007年12月 / 本社所在地 | 東京都千代田区神田和泉町1番地12-15 O・Sビル4F

### ZooopsJapanについて

弊社は、東京の秋葉原に本社をかまえるIT企業です。2015年に北見でテレワークを行ったことをきっかけに、会社として地方でのワーケーションを積極的に取り入れてきました。北見に職住一体型のサテライトオフィスを開設して社員がワーケーションをするなど、何度も訪れるうちに地域の人と強いつながりが生まれていきました。

さらに、2017年以降は、北見市と東京のIT企業3社で締結した「ICT環境を活用した地方創生に係る連携協定」をもとに、北見を中心としたオホーツクをITでの地域課題解決によって活性化する取組を進めてきました。

### 人が抱える問題をAIで解決できるか

その中で、野村興産(株)イトムカ鉱業所の廃乾電池リサイクル業務で抱えている課題に行きつきました。

工場には、全国から捨てられた乾電池が集まってきます。そこから大きく「使い捨ての一次電池」と「充電して何度も使える二次電池」を選別しなくてはなりません。

この工程では、コンベアラインで流れてくる無数の電池の中から、取り除くべき二次電池を人が目視で判断して、手で取って仕分ける作業が行われていました。熟練の作業員の方が慣れた手つきで電池をピッキングする様は圧巻でしたが、作業の負担が大きく、未経験の人が就くにはかなりの訓練が必要、というのが課題になっていました。

目視での電池識別をAIカメラによる画像判定、ハンドピッキングを画像判定結果に基づき機械での仕分けに置き換えることができるのではないか、との考えが生まれ、弊社と野村興産(株)との共同プロジェクトとして、検証実験から取り組み始めました。

コンベアラインに流れている電池は汚れていますし、傍目にはどの電池も同じに見えます。しかし、作業員の方が日常的に行っている選別の判断基準を言語化すると、複数の判断基準があることがわかりました。AIが学習できそうな一部の基準をプログラムして、まずは静止画の状態から検証を開始。静止画での検証で十分な結果が確認できたら、次は動画で、その次は実物のレーンを使用して、と検証段階を移していき、実用性の確認を行って

いきました。現状では90%を超える精度で電池選別が可能であることが確認できていて、実現可能性が大きく期待できる状態まで辿り着いています。さらに細分化した判定が行えるように学習を進めることで、人が行う作業と同じくらいか、それ以上の状態に近づけていけると考えています。



最新施策レーン



緑、オレンジなどの色、電極部分のくぼみの有無、パッキンの色などで瞬時に判断



なんでもやりたい！  
欲張りで  
豊かな暮らし

私、なんでもやりたがりなんです。やりたいことをやるためには努力が 있다고 思っていて、できる努力はしたい。2020年に東京から北見に移住してきたことも、そのひとつだったかもしれません。東京での暮らしだからできたこともあります。東日本大震災を経験したことをきっかけに「こういう時、すぐに子どもたちの元に駆け付けられるのかな」という気持ちが芽生えて、身を置く環境を本格的に考え始めました。まずは、どこでも働けるよう会計のスキルを身に付けるため、会計事務所で働き始めました。当時勤務していた会社にテレワーク制度はありませんでしたが、会社と話し合いを重ねていくうちに理解が得られ、体制を整えることができたので、移住が叶いました。北見では、家や子どもたちの通う学校から、車で5分くらいの近い距離の職場で働くことができました。フルリモートなので、家でも仕事ができるのですが、地域の働く人とコミュニケーションを取りたいという気持ちがあって、KITAMI BASEの前身の coworking

スペースを利用することにしました。そこでは、同じくテレワークで働く人や、地元の会社や個人事業主など、色々な業種の人繋がりをもって仕事をしていました。東京だと街にただで出会う予想しないコミュニケーションがあるけど、地方だと車社会で、予期せぬ出合いってあんまりないなって思っていて、時が経つにつれ、それを作る側に興味が湧いてきました。そう思っていたときに、KITAMI BASEにリニューアルしたタイミングで今の会社に声をかけてもらい、コミュニティマネージャーとして働き始めました。コミュニティを高めるためには、地方の経済が元気でなきゃ、とあって、前職のノウハウを活かして中小企業や個人事業主の会計のサポートをフリーランスで続けています。これからも、子育てをしながら働いて、自分も豊かな暮らしの中で生きていきたいし、できることなら守っていきたくです。今のスタイル、ものすごくしゃりきてるので、しばらく全開でやっていきます。

株式会社アイエンタ  
KITAMI BASEコミュニティマネージャー  
西村 貴子

テレワークで  
仕事きっちり  
ライフのんびり。  
北見での充実した人生

今でこそ一般的になったテレワークですが、私が北見市に来た1997年頃は、世間ではほとんど認知されない働き方でした。そんな私がテレワークの普及・推進を仕事にしたのは、夫の転勤で会社を退職したことがきっかけ。毎日会社に通わなくても、離れたところに住んでいても、自宅です仕事できれば会社を辞めなくても良かったのではないかな。しかし、当時は在宅勤務ができる会社はありません。私は会社に所属せず、個人事業主として仕事を続けるしかありませんでした。当時の女性は出産や子育てを理由に仕事を諦めて会社を辞めざるを得ない人が多く、周りには「私も田澤さんみたいになりたい」という女性がたくさんいました。そんな声に応えつつ、日本の働き方を変えたいと思い、全国の個人事業主と一緒に仕事をする会社、ワイズスタッフを北見で立ち上げました。10年間で約150人とテレワークで仕事をする会社になりましたが、限界も感じました。日本の働き手の9割は会社員であり、世の中を変えるには企業を変えていかなければ。その

思いから、テレワークマネジメントを2008年に設立したのです。そして2020年、新型コロナウイルスをきっかけに多くの企業がテレワークを導入し、自宅で働く人が増えました。しかし、コロナの収束が近づく「出社に戻る」企業も少なくありません。「テレワークだとコミュニケーションがとりにくい」「テレワークだとサボる社員がいる」、テレワークだと仕事が進まない、というのが理由です。しかし、ツールの導入やルールの運用、社員の意識で、これらの課題は解決できます。テレワークがあたり前の日本にするためには、企業が制度や環境を整備することはもちろん、働く側も「テレワークでしっかり働く」ことが重要です。私も気づけば北見での暮らしが人生で一番長くなっていました。起業や子育て、親の介護など、いろいろなことがありましたが、テレワークのおかげで乗り越えることができました。やりたい仕事をしつつ、好きな場所で暮らせて、本当に幸せな人生です。そして、その大切な舞台が、北見なのです。

株式会社テレワークマネジメント  
代表取締役  
株式会社ワイズスタッフ  
代表取締役  
田澤 由利

WHAT'S YOUR TREASURE.

# TREASURE HUNTER

環境、働き方、夢、ライフスタイル、手に入れたい自分にとっての宝物。決して平らではないけど、掴むために進んできたそれぞれの道。

地方と都会の  
2軸ではない  
自分1軸で生きる

もともと北見出身で、就職して東京の証券会社に入ったんですが、毎日満員電車に乗って早朝から働いて、ものすごいスピードで優秀な人たちがしのぎを削っている、都会の大きな会社が全然自分に合わないなと感じるようになりました。ちょうどMBAを取得するために入っていた大学院を卒業するタイミングで、勤め先の会長であり大学院の学長でもある方から「世の中の役に立つことをやりなさい」というお話があって、それなら自分は田舎を良くする仕事をしよう、とあって、北見に帰って来ました。帰って来て数年間は、田舎には田舎の良さがある、みたいな、都会と田舎の2軸的な考え方をしていたんですが、当然各々の良さがあって、どちらが良いということではないと考えるようになりました。今は、好きなように、自由に仕事や生き方を選んで暮らして行けることが一番大事だと思っています。オホーツクは豊かな自然環境を前提に日本有数の第一次産業や自然に近い暮らしが実現されている場所です。サステナブルが人類のテーマだとしたら、

ありのままの自然を基盤に、人が生きる上で必要なたくさんの方の食料を生産するこのエリアの経済をさらに発展させていくことは、人類が生きる未来、地球の未来をつくることそのものですし、だからこそさらに発展させていく意味があります。それをいろんな人と徹底的に追求していくのが自分の使命だと思っています。それってもはや都会とか田舎とかの話ではなくて、地球の未来とか、人類の未来に直結するようなことを生き方として選んで、その中で暮らしていくという自分1軸の話です。これまで地元側として参加してきたふるさとテレワーク推進事業や、北見市IoT推進ラボの取組も、オホーツクという極めて自然なエリアで、デジタルの力を使いながらたくさんの方が自分の本当にやりたい仕事や叶えたい生き方や暮らしを実現させて、さらに経済が発展していく、そしてたくさんの方がそのサイクルの中で大活躍して、各々の生き方と地域経済が最高になっていく、そんなことを、これからもやっていきたいです。

株式会社ロジカル  
代表取締役  
西野 寛明

デュアルキャリアで  
北見から世界へ！

僕は、2018年に「SC軽井沢クラブ」の一員として平昌冬季五輪に参加しました。五輪に参加したからこそ、地元である北見発での五輪出場を叶えたいという気持ちが強くなり、同じ年の4月に北見に戻り、KIT CURLING CLUBを立ち上げました。軽井沢にいた頃は、会社がある渋谷に往復3時間かけて通勤しながら競技をしていて、練習と仕事で精一杯、帰ったら寝だけの生活でした。北見に戻ってからは、会社のサポートと北見市が整備した環境があって、会社を辞めることなくテレワークを使って、仕事ありきの競技生活を続けられています。時間的な余裕ができてワークライフバランスも良くなりました。僕はこの、競技と仕事のどちらのキャリアも諦めず両立する、デュアルキャリアを体現していくことをひとつの目標にしています。僕個人やチームで、仕事をしながらアスリートとして結果を残すことで、デュアルキャリアを体現して、おこがましいですけど、同じ境遇の人やこれから世界に飛び出していく選手に目標にもらえるようになりたいです。

僕の場合、競技でも仕事でも運よく環境に恵まれて今がある。本当に稀なことだと実感しています。これをたまたま、じゃなくて、北見だけじゃなくて、全国にデュアルキャリアの考え方がもっと浸透して、僕たちのチームと同じような志を持つ仲間や後輩がもっと増えてほしいと思っています。そのためには、社会に出るとき、環境が整っていかなくて実現できない。北見に戻ってからは、その環境づくりが個人の大きなミッションです。そのためには、まずは僕自身が体現していかないと。2026年ミラノ五輪での金メダルがチームの今の最大の目標で、それをデュアルキャリアで実現していくのをとても大切にしています。僕たちは「スポーツ選手」と「仕事」ですが、仕事と「何か」を本気で取り組んでいる人ってたくさんいると思います。環境に恵まれず、壁があっても僕にとってオホーツクでのテレワークがそうだったように、方法はあるので夢を諦めないでほしいと思います。

株式会社アイエンタ  
KIT CURLING CLUB  
キャプテン  
平田 洸介





大自然が遊び場！

# Photogetic × Playground

フォトジェニック

プレイグラウンド

休日、なんなら仕事終わりにでも、1時間程度の移動距離ですぐに叶う非日常体験を。当たり前のように出会える絶景が道東にはあります。働くことも遊ぶことも満喫。北見での滞在ならそれが現実に。



@kei518\_fishing

## fishing 釣り

網走海岸 ①北見駅から…車で約1時間

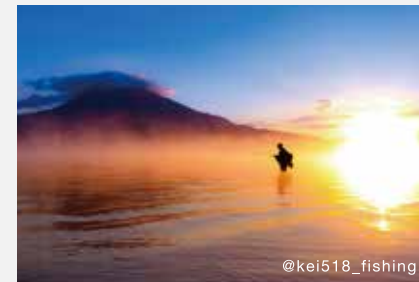
水平線で混ざり合うオホーツク海の深い青色と陽の光、浜辺に続く釣り人の影…ノスタルジックな景色の中で、ゆっくり流れる時間。きっとあなたもここで大地の母に抱かれます。

阿寒湖 ①北見駅から…車で約1時間

乱開発を逃れた昔ながらの原生林に囲まれた森の音と水の音が聞えない、癒しの釣りスポット。北海道の在来種であるヒメマスやニジマスが釣れます。



@kei518\_fishing



@kei518\_fishing

## camp キャンプ

チミケツ湖 ①北見駅から…車で約30分

もうずっとずっと歩いて辿り着いたかのような、深い静かな森のキャンプ場。ゆっくりと時間が流れ、息をするだけで癒されていくのを感じます。

くっしゃろこはん 屈斜路湖畔 ①北見駅から…車で約1時間

広々とした湖を望みながら、波打ち際のすぐ近くにテントを張れるキャンプ場。デイキャンプもよし。カヌーや釣りを楽しみながら過ごす人も多いです。



@kei518\_fishing

## 自然の中でのワーケーションも実現。

心安らぐ場所で、頭を空っぽにして。



## sup サップ

サロマ湖 ①北見駅から…バスで約1時間

日本有数の名所と言われるサロマ湖の夕日を浴びながらのウォータースポーツ、王道の癒し体験。「ネイバル北見」で体験できます

すぐそこにある自然を満喫するここだけの体験。

ワイルドなアクティビティも絶景とともに楽しめる。

## watching 流水ウォッチング

知床 ①北見駅から…車で約2時間半

オホーツク海は毎年1月下旬から3月にかけて流氷がやってきます。海岸線から水平線にかけて広がる流氷原を目にすれば、想像をはるかに超える感動を味わえるはず。



## curling カーリング

北見 ①北見駅から…車で約10分

アルゴグラフィックス北見カーリングホールでは、世界を目指すKIT CURLING CLUBも練習にやってくるので、間近で迫力あるプレーが見られるかも。事前予約でインストラクター付きの体験が可能。

そだね〜を体験する。北見といえばカーリング。チーム力を深めて



## fat bike ファットバイク

ワッカ原生花園 ①北見駅から…バスで約1時間

ずっと平らに続く白の景色を自転車で駆ける、非日常体験。ファットバイクは普通より倍近くタイヤが太い自転車。冬期は各所でスノーライドの体験が可能。



## cycling サイクリング

留辺蘂 ①北見駅から…自転車で約1時間

北見サイクルステーションのレンタサイクルで、帰りは自転車とともにバスで北見駅に戻る、1WAYライドがおすすめ。目の前いっぱい広がる四季折々の田園風景は絶景。

## climbing 登山

雌阿寒岳 ①北見駅から…車で約1時間半

頂上には阿寒エリアを見晴らせる火山の絶景。南北それぞれ噴煙を上げる複数の火口に地球の息吹を感じます。登山口の目の前に駐車場があり、異空間へすぐアクセス可。





# きたけ

を


## 合言葉に繋がる。

暮らしや生き方に対するひとりひとりの価値観が見やすくなった今だから、

場所を超えて、共感してくれる人たちと繋がり、一緒に未来をつくりたい。


北海道  
**きたけ**で ワーケーション

天野 宏  
一般社団法人日本ワーケーション協会  
顧問/業フリマ系アプリ会社  
#ワーケーション #始祖 #公園好き  
#エバンジェリスト #お酒が強い




仕事で  
**きたけ**と 出会った

箕浦 龍一  
一般社団法人日本ワーケーション協会  
特別顧問  
#ワーケーション #DX  
#カレー部創設 #顔はめパネル



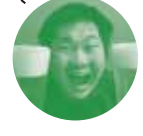
北海道  
**きたけ**で 研究

梶井 文人  
北見工業大学 情報通信系教授  
冬季スポーツ科学研究推進センター長  
#カーリング研究 #観光情報学  
#関西出身  
#ほんとは千春好きで移住



北海道  
**きたけ**に 1ターン

佐野 卓矢  
株式会社要  
#千葉出身 #元お笑い芸人  
#M-1予選1回戦通過 #元船長




北海道  
**きたけ**で 東京のIT企業に就職

ごとう みなよ  
株式会社要  
#IT企業社員だけど #記者  
#北見経済新聞 #バス移動



北海道  
**きたけ**で 会社経営

桑原 賢史朗  
桑原グループ  
代表取締役  
#機械屋 #電気屋 #万屋  
#男気 #ほんとにこんな顔



地元の  
**きたけ**で 起業

磯川 実  
株式会社北映Northern Films  
代表取締役  
#映像制作 #クリエイター  
#ココロ動く映像を世界に




地元の  
**きたけ**で 暮らす

西村 貴子  
株式会社アイエンター  
#KITAMI BASE  
#ダブルワーク #2児の母




地元の  
**きたけ**で 起業

後藤田 剛  
株式会社1stTag  
代表取締役  
#ベトナム #コーヒー研究  
#デザイナー #バーマ




北海道  
**きたけ**と 研究開発

がおまる  
株式会社アイエンター  
#大阪 #スマートスピーカー  
#著書あり #カーリング



北海道  
**きたけ**で 国の事業に参加

永澤 慶章  
酪農関連企業 エンジニア  
#ふるさとCo-LEAD  
#東京からオホーツク  
#今は酪農系エンジニア #よっしー



北海道  
**きたけ**で 国の事業に参加

横尾 友博  
LINE Fukuoka株式会社  
#ふるさとCo-LEAD #福岡  
#釣り好き #LINEで課題解決



地元の  
**きたけ**で 働く

岩田 啓佑  
フリーランス  
#KITAMI BASEビジネスパートナー  
#SEO #双子のパパ  
#コンテンツディレクター



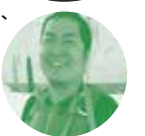
地元の  
**きたけ**で 働きながら五輪を目指す

平田 洸介  
株式会社アイエンター  
#KIT CURLING CLUB  
#アスリート  
#エンジニア #デュアルキャリア




地元の  
**きたけ**で 起業

西野 寛明  
株式会社ロジカル  
代表取締役  
#オホーツクバレー #マーケティング  
#ヤキニキスト #食いしん坊




北海道  
**きたけ**に 仕事で来た

相内 洋輔  
フリーランス  
#アイデアは妄想から #モウトレ  
#ワークショップデザイナー




北海道  
**きたけ**で 国の事業に参加

村田 浩紀  
某大手携帯会社  
#ふるさとCo-LEAD #東京  
#農家さんと一緒に  
#エンジカを捕まえる




北海道  
**きたけ**で 起業

小林 忍  
株式会社開拓社  
#シンガポール #銀行 #証券  
#トライアスロン #熱い男




北海道  
**きたけ**の 出身

海田 泰宏  
某メガベンチャー  
#東京在住 #帰省型テレワーク  
#いつか帰るから #あだ名はヤス




北海道  
**きたけ**の IT企業との繋がり

磯部 一郎  
株式会社福水戸家ホールディングス  
代表取締役  
#ふるさとテレワーク参加 #生き急ぐ  
#余命宣告 #からの生還




北海道  
**きたけ**の IT企業との繋がり

山本 裕介  
グループ合同会社  
#軽井沢 #リスクリング  
#今日の次男 #肉体的改造



北海道  
**きたけ**の 企業とビジネス

渋谷 順  
株式会社スマートバリュー  
取締役兼代表執行役社長  
#ニシノミヤストークス  
#神戸アリーナ  
#それは未来に残るパリュウか?



北海道  
**きたけ**に 転勤

森本 淳志  
日本政策金融公庫  
#北海道love #元北見支店長  
#創業支援  
#公庫のシューゾー #熱い



北海道  
**きたけ**の ワーケーションづくり

シュレスタ翔太  
株式会社SSAA  
代表取締役  
#東京 #ベンチャー #起業家  
#シュレスタ翔太と仲間たち




北海道  
**きたけ**で フルリモート勤務

村上 綾  
株式会社マクアケ  
#在宅ワーク #自然大好き  
#ドライブ #企業法務



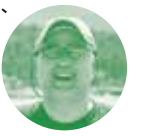
北海道  
**きたけ**に 仕事で来た

谷 真寛  
某人材会社社人人事部  
#ふるさとCo-LEAD  
#元外資系コンサル  
#趣味で北海道旅行



北海道  
**きたけ**に 仕事で来た

伊藤 富雄  
カフーズ主宰/コワーキング協同組合  
代表理事  
#日本初のコワーキングスペース  
#コワーキング曼荼羅 #ライター



北海道  
**きたけ**で おためし移住体験

ハーマン・チャン  
TikTok for Business Japan  
#香港出身 #東京在住  
#Z世代研究 #バイオリン



北海道  
**きたけ**で 地方創生

渡部 佳朗  
株式会社ZooopsJapan  
代表取締役  
#東北出身 #なべちゃん  
#第1回テレワークアワード推進賞  
#ZohoCreator認定デベロッパ



北海道  
**きたけ**の 企業と開発

鈴木 千秋  
株式会社ZooopsJapan  
#東北出身 #Webシステム開発  
#親子ワーケーション #赤羽住民







北見焼肉のプロ“ヤキニキスト”あーくんが案内!

# オススメ出張フード

オホーツク大好き、オホーツクパレー水先案内人。  
出張だからこそ、おいしいものを食べなくちゃ。



## 回転寿司トリトンのお寿司

### 北見生まれ!ここが本場!

もはや北見市民のプライド。圧倒的なネタの大きさとうまさ故、誰が行っても大満足となる。訪れた人は再来訪確定。

#### 回転寿司トリトン

《三輪店》〒090-0836 北見市東三輪4丁目12-20  
《夕陽ヶ丘店》〒090-0064 北見市美芳町2丁目5-1  
【営業時間】11:00～22:00

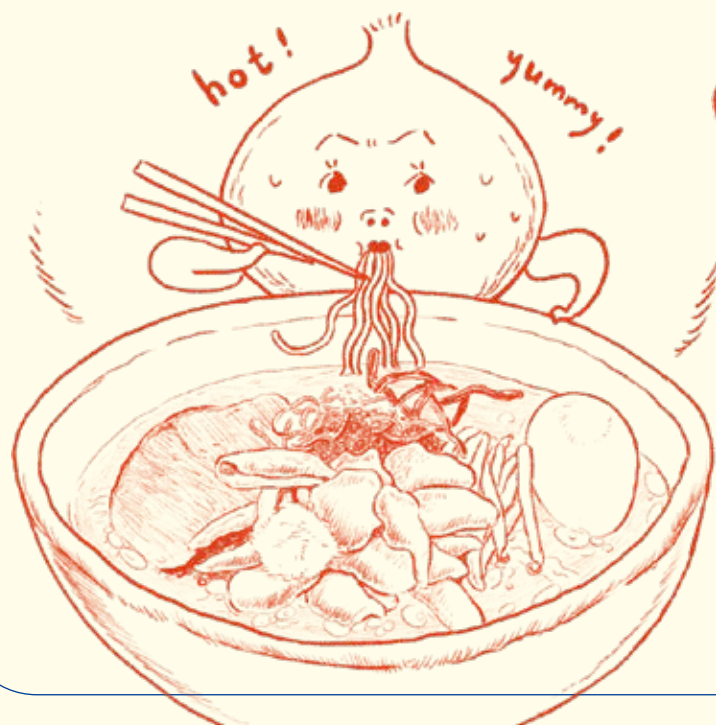
## オホーツク北見塩やきそば

### 北見の旨味がぎゅっと詰まったご当地グルメ

たまねぎ、ホタテ、北見が1位を自慢できる食材の旨味いっぱいのご当地焼きそば。市内でもたくさんのお店で提供されており、それぞれのお店でアレンジの違いが楽しめる。

#### 中華料理 瀋陽飯店 (中心商店街エリア)

〒090-0043 北海道北見市北3条西3丁目6 北見ピアソンホテル1F  
【営業時間】11:30～14:30(L.O.13:45) / 17:00～21:00(L.O.20:30)  
【定休日】なし(年末年始等を除く)



## 辛みそホルモンらーめん

### 焼肉のまち北見のホルモンだからうまい!

このラーメンがつくる深いコクは、焼肉のまち北見のホルモンだから為せる業。それがまた濃厚な味噌スープに絶妙に混ぜり込んでいる。麺とのバランスも最高な、完成された逸品。

#### 麺屋 はる吉

〒090-0837 北見市中央三輪1丁目362番地8  
【営業時間】11:00～15:00(L.O.14:30) / 17:00～20:15(L.O.19:45)  
※スープなくなり次第終了  
【定休日】月曜日(不定休)

## オホーツク干貝柱塩ラーメン

### 日本有数の漁獲量! 北見自慢のホタテを凝縮

北見を代表するホタテの干し貝柱とエキスをフル活用したラーメン。さっぱりしているけど、その先に感じるホタテ由来のコクと旨味が最高。

#### 中華料理 菜華 (中心商店街エリア)

〒090-0040 北見市大通西2-1コミュニティプラザパラポ6F  
【営業時間】11:00～19:30(L.O.19:00)  
【定休日】月4回(火・土・日曜日のいずれか)



## 焼肉&目井

### 全国トップレベルのひとりあたりの焼肉店数を誇る、焼肉のまち北見

味付けされていない牛サガリと豚ホルモンを七輪で焼き、生ダレと呼ばれるそれぞれのお店特製のタレで頂くのが北見焼肉の文化。焼肉屋さんがありすぎて迷うと思われるので、KITAMI BASEで聞き込みを。そして、一部の焼肉屋さんで提供される、一見、目玉焼きに乗っているだけの丼ぶり「目井」。夜のメになぜか食べたくなる、なぜか食べれてしまう北見のソウルフード。シンプルなのになぜかものすごく美味しい。北見市民最大の謎がここに。

#### 目井提供店

**板門店** (北見飲食店街)  
〒090-0047 北海道北見市北7条西4丁目8-1  
【営業時間】18:00～4:00  
【定休日】日曜日



## SWEETS TOWN KITAMI

### 絶品きたみスイーツ

ティンカーベルのチーズベーク、大丸のほっちゃん、清月の赤いサイロ、道の駅の白花豆ソフトクリーム…北見市民も大好きで、来た人にももちろんおすすめなスイーツがたくさん。和菓子も洋菓子も至るところに美味しいお店がある、まさにスイーツタウンなのである。

#### A チーズベーク ケーキハウス ティンカーベル

〒090-0058 北海道北見市高梁西町9丁目1-3

#### B 白花豆ソフトクリーム 道の駅おねねゆ温泉

〒091-0153 北海道北見市留辺蘂町松山1-4

#### C ほっちゃん 菓子處 大丸

《本店》〒090-0042 北海道北見市北2条西2丁目

#### D 赤いサイロ 清月

《一番街本店》〒090-0041 北海道北見市北1条西1丁目10





# Kitami Package Selection

きたみパケ買い土産 -北見のグラフィックデザイナーが選んだおすすめ12選-

渡す時も自慢気に、もらった人も嬉しくなる、品質が良くて、見た目もかわいい北見のお土産。

黄色のパッケージがハッピー!

## 01 ドライオニオン

北神産業株式会社

玉ねぎ生産量日本一の北海道北見市。北見管内でとれた規格外品の玉ねぎを、手作業で丁寧に皮をむき、使いやすい乾燥玉ねぎに。

[〈https://www.hokushinkitami.com〉](https://www.hokushinkitami.com)

タイポグラフィのイラストを楽しんで。

## 02 酒粕飴

永田製飴株式会社

上川大雪酒造の自慢の純米酒の酒粕を使用し、ていねいにつくったオリジナルの酒粕飴です。口に入れると、ほんのり甘く優しい味わい。

[〈https://www.nagata-candy.jp〉](https://www.nagata-candy.jp)

中身の彩りが美しい!

## 03 TOKORO BIANCA

株式会社S&Hファーマー

自分たちがつくった長芋をもっと届けたい。オール常呂産の進化系とろろおつまみシリーズ。多様に使えるひと瓶。(冷凍食品)

[〈https://sh08301125.thebase.in〉](https://sh08301125.thebase.in)

レトロかわいいパッケージが魅力。

## 04 ハッカ樹氷

株式会社山樹氷

白さの理由は樹氷に見立てたハッカ糖衣。食べた瞬間に甘納豆の柔らかな甘みと、ハッカの爽快感がお口の中に広がります。

[〈http://sanjyuhyou.co.jp/〉](http://sanjyuhyou.co.jp/)

「生」の文字で伝えるインパクトを。

## 05 味覚園「生たれ」

株式会社坂口精肉店

化学調味料・着色料不使用のまろやかな味わいの「生たれ」。素材が本来持っている味を最大限に引き出した自信作!

[〈https://sakaguchigroup.co.jp〉](https://sakaguchigroup.co.jp)

線のできたモチーフに蜂を探して。

## 06 Hachi meets Nuts

酒井農園

酒井農園の蜂蜜は加熱や加糖をせず酵素やビタミンが生きているそのままの蜂蜜。香ばしいナッツと蜂蜜の贅沢な味わいです。

[〈Instagram→@sakai.nouen\\_2007〉](https://www.instagram.com/sakai.nouen_2007)



ミントグリーンの配色がたまらない!

## 07 ハッカ油スプレー

株式会社北見ハッカ通商

天然和種ハッカ100%のハッカ油。スプレーをシュッと一吹き、爽やかな香り。食品添加物なので、食品の香り付けにもご利用いただけます。

[〈https://hakka.be〉](https://hakka.be)

クラフトと高級感のバランスが最高。

## 08 旭りんごのシードル

しのねアップルファーム

旭りんごを原料に、消滅寸前のオホーツクのりんご栽培復活の願いを込めたしのねオリジナルのシードルです。

[〈https://apple-shinone.com〉](https://apple-shinone.com)

ハートのさつまいもがキャッチー!

## 09 OKHOTSK ほすいも

緑夢ファーム

自身の農園で育てたさつまいも「紅はるか」を干し芋に。甘みがあってスイート。いも感しっかり食べ応えのある干し芋です。

[〈https://midream-farm.com〉](https://midream-farm.com)

美しいブルーで癒されます。

## 10 プレミアムハーブティ FEEL FINE 蒼

農業法人有限会社香遊生活

種蒔きから収穫、加工製造、販売まで、一貫して生産しているオーガニック有機JAS認証自然栽培ハーブ100%でブレンド。

[〈https://www.koyu-seikatu.co.jp〉](https://www.koyu-seikatu.co.jp)

名前と鮭のフォルムが絶妙!

## 11 ほっちゃんれ

株式会社菓子處丸

小麦粉と卵でふっくら焼き上げた皮の中に、小豆餡をバランス良く包み、隠し味にしょうゆ・みりん・酒を使用。

[〈https://kashi-daimaru.com〉](https://kashi-daimaru.com)

ユニセクスのデザインで男女問わず

## 12 ゴートミルクソーブ

オホーツクサボンヌフ

ヤギの飼育から自分たちで。北海道オホーツクでつくるやさしいヤギミルク石けんです。1日の終わりに潤いのご褒美を。

[〈Instagram→@okhotsksavon\\_neuf〉](https://www.instagram.com/okhotsksavon_neuf)

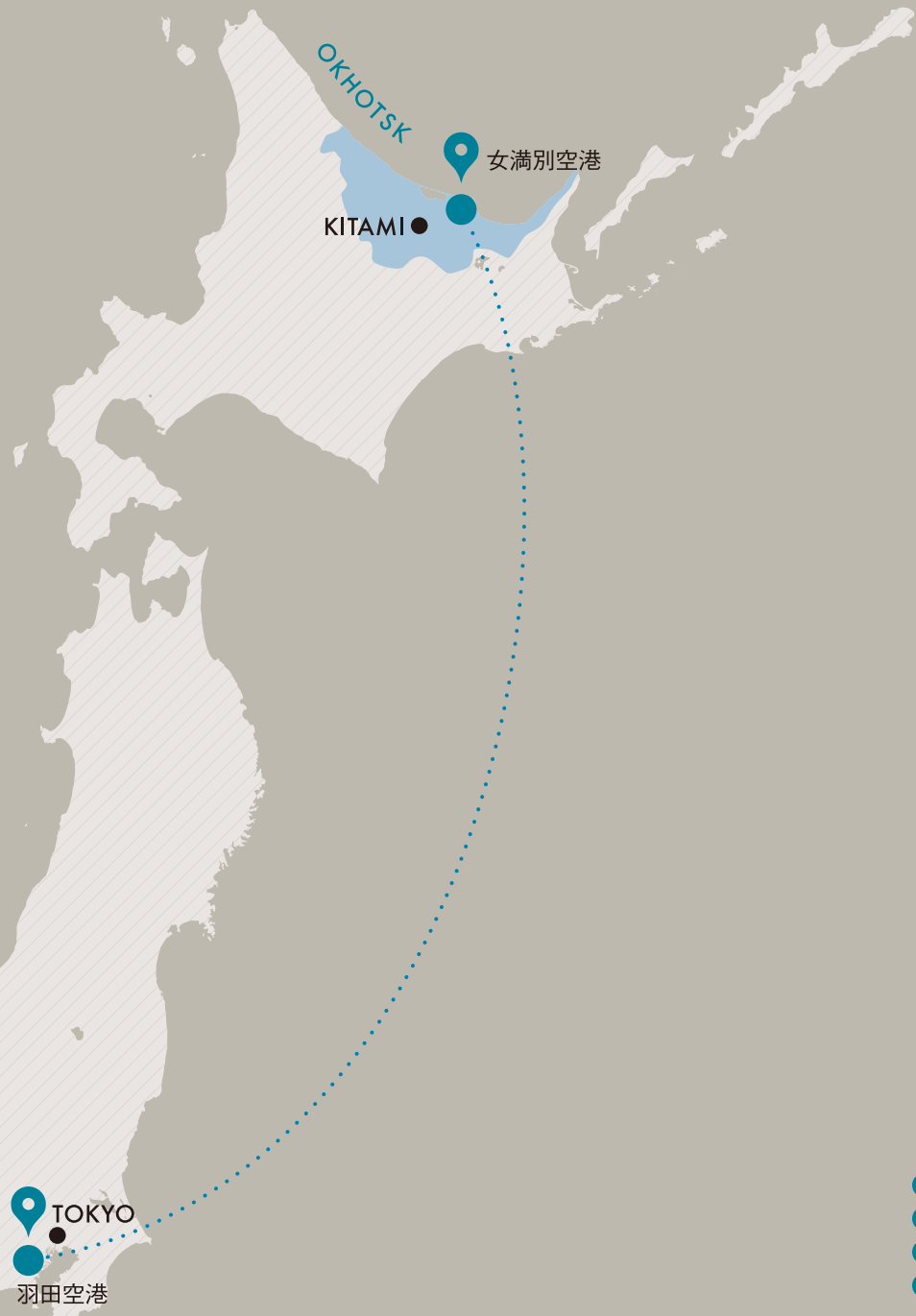




# KITAMI BUSINESS TRIP GUIDE

**Air Plane 飛行機**  
HND MMB  
羽田空港から → 女満別空港まで  
**1時間45分**

**Bus バス**  
MMB KITAMI Station  
女満別空港から → 北見駅まで  
**42分**



空港直結バスの乗降所である北見駅付近には、コワーキングスペースが徒歩圏内に2か所。ビジネスホテルも多数立地して、お仕事での滞在に便利な街。



## HOTEL

- ① 北見第一ホテル
- ② ホテルルートインGrand
- ③ 東横イン
- ④ コンフォートホテル北見
- ⑤ ホテルルートイン
- ⑥ ドーミーイン北見
- ⑦ 北見ピアソンホテル

## COWORKING SPACE

- A KITAMI BASE
- B Study Space101

# KITAMI BASE



## 仕事と滞在の拠点 KITAMI BASEにチェックイン

KITAMI BASEは、コワーキングスペースと宿泊施設を併せ持った誰でも利用できるワークスペース。

所在地 〒090-0042 北海道北見市北2条西2丁目8番地  
営業時間 9:00～18:00  
休業日 土日祝・年末年始(宿泊は年中無休)



空き状況の確認、ご予約はこちら

空き状況がリアルタイムで確認できます。予約には、簡単な会員登録が必要です。支払いは、予約時のクレジットカード決済に限りです。

## WORKING SPACE

広々としたオープンスペース



ドロップインで利用可能なフリースペース。出張時やいつもと違う場所で仕事したい時などに最適。軽飲食OK。

1F 席数 / 24席  
フリースペース

営業時間 / 9:00～18:00 (休業日の利用は問合せ)

## MEETING SPACE

打ち合わせに適した個室空間



会議や打ち合わせ、セミナーなどに適した個室空間。プロジェクター、マイク、スピーカーなどの備品貸出あり。

1F 部屋数 / 3部屋  
イベントスペース(16名用×1部屋)  
ミーティングルーム(4名用×2部屋)

営業時間 / 9:00～18:00 (休業日の利用は問合せ)

## STAY ROOM

施設内の宿泊用スペース



シャワールーム、洗面台、飲食可能な共用スペースと各部屋にエアコンを完備。

2F 部屋数 / 5部屋  
〈Check In〉15:00～  
〈Check Out〉10:00

営業時間 / 無休



# OKHOTSK VALLEY

オホーツクバレーVOL.2

2023年4月1日発行  
発行 / 北見市商工観光部工業振興課

アートディレクター・デザイナー: 菅場 あすか  
Art Director・Designer: Kayaba Asuka (DEARGRAM)  
イラストレーション: 小泉 由美、しげるまつげ  
Illustration: Koizumi Yumi, Shigerumatsuge  
アートワーク: こころ  
ArtWork: Kokoro

オホーツクバレー監修: 西野 寛明  
Supervision: Nishino Hiroaki (Rogical)

Special Thanks  
写真提供: 岩田 啓佑、三浦 隆浩

本誌掲載の写真、イラストレーション、記事、ロゴの無断転載および  
複写を禁じます。

OKHOTSK VALLEY  
WEB



北見市では、  
IT企業の北見進出を  
補助しています。

コロナ後では全国初!  
移住者なら1名から対象に!

## 雇用補助金

雇用する企業に対して北見市に移住した社員1人につき、  
進出から5年間で最大100万円を補助します。



## 航空運賃補助金

道内初!北見進出から3年間、本社と北見市への  
往来にかかる航空運賃の50%※を補助します。

※最大200万円/年



## IT企業進出支援補助金

北見進出から3年間、要件に該当する社員の人数に応じて、  
オフィス賃料の一部を補助します。



※詳細は右記、INFORMATIONまでお問い合わせください。

## INFORMATION

北見市商工観光部工業振興課

TEL 0157-25-1210 / FAX 0157-26-2712  
kogyo@city.kitami.lg.jp